

釧路南ロータリークラブ会報

第40回 例会報告 2011.5.6 通算1394回

・点 鐘 木内会長

・ロータリーソング

「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」

ソングリーダー 長井 一広会員

・入会記念祝

原田 眞則会員 H 2. 5. 11 (21年目)

・結婚祝

北上 俊一会員 S 45. 5. 6 (41年目)



佐藤幹事は、前日からの出席で大変ご苦労さまでした。あとから聞いた話ですが、長倉会長エレクトが旭川に行く途中、三国峠のトンネルでスリップして車が壊れたそうですが、ケガもなく不幸中の幸いと思っています。また、次年度のR I会長の基本方針、次年度増田ガバナー方針が決まり、活動計画書を作る時期になりましたが、今年度の大きな事業は、6月9日に韓国の新晋州RCとの友好クラブ調印式が残っております。調印内容に関しては、理事会にて検討しますが、相手側もあるので調印の前に双方が確認しながら進めていきます。現在出席する人数は、私含めて6名となっておりますが、一名は通訳をお願いしております釧路RCの邵さんです。以上会長挨拶とさせていただきます。

・幹事報告



・会長挨拶



こんにちは！ 幹事報告をさせていただきます。

- * 釧路西、北、東、ベイ、浜中、厚岸、根室の各ロータリークラブより、5月のプログラム及び会報を拝受しております。
- * 20011～12年度増田ガバナー事務所より、4月23日～24日に行われたPETS、地区協議会の参加御礼が届いています。
- * いわき平中央ロータリークラブより震災にかかわるお願いとご協力のハガキを拝受しております。
- * 本日、例会終了後、理事会を開催しますので理事役員の方は会場にお残り下さい。

会員の皆様こんにちは！2週間ぶりの例会です。先月23日に旭川で開催されました次年度の地区協議会に12名が参加しました。次年度の長倉会長と

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

原田 眞則会員 入会記念祝として

北上 俊一会員 結婚祝として

出席委員会

会員 24 名 13 名出席

地区協議会 24 名出席 出席率 154.1%

・本日のプログラム

「地区協議会参加報告」

担当 次期会長・幹事

■長倉次期会長



私、長倉が来期、当クラブの30周年を迎える年度の会長となる事となりました。思い返してみると、入会当初は、1年か2年で退会する事も視野に入れての入会でしたので、まさか会長になるなどとは、思いもしませんでした。それが順番だし、ならば潔く受けよう。頼んだ人にいやな思いをさせないで笑顔で引き受けよう。と決めていましたので、適任であるかどうかは別に、クラブがスムーズに進み、皆が心地よくクラブの運営が進むのであれば自分がやらねばならないと思ひ引き受けさせていただいた次第です。今回の地区協議会は、総勢地区委員長の福井さんも含めると12名の参加となり、遠い旭川での開催にも関わらず多数のご参加をいただき改めまして心より感謝申し上げます。

まずは、あまり力まず、てんぱらず、いつもの調子とリズムで会の運営を幹事を引き受けていただきました佐藤玄史さんとともに進めてまいります。会員の皆様も感じていると思いますが、来年度に限らず当クラブのあり方については、何かしらの方向性を決め示す必要が出てきている時期にさしかかっ

てきていると思っております。その方向とは、これから例会やクラブフォーラムにてイメージを共有することが大事だと思いますので、多くのご意見を頂戴し共有しそれを反映する方法を探っていきたいと考えております。現実に着目すれば、当南クラブは、バイククラブが、西と北との合同でできたクラブですので実は釧路市内では、一番歴史の浅いクラブという事ができると思っております。

会員数を釧路クラブや北クラブのように増やし大型化することが当クラブのあり方とは思えません。少数でもクラブの会員がそれぞれ仲良く信頼しあい、助け合い、共に楽しみ、事業も発展させられればそれが南クラブらしさだという事で十分と考えています。ただ、もう少し会員増強をしないと、やはり止む無く退会される方もおられるでしょうし、現在の出席率では、皆、心に思っている事は一緒だと思っております。皆、仕事をしながらのロータリーですから、その中で負担少なく効率の良い、会員増強と出席率の向上を目指すにはどんな方法があるのか考える必要があるのかと思います。いろいろな課題が山積しております。その課題を解決するためにも、クラブのためだけではなく、ご自身のためにもクラブの委員会の活動につきましては、今まで以上に活性化していかなければならないと感じていると思っております。皆で理想のクラブを目指し、一緒にがんばっていければ幸いです。

さて、来年度のR I会長のカルヤン・バネルジー氏は「深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ問題を分かち合っていることを、理解していただきたい」と述べ、テーマを「Reach Within to Embrace Humanity」「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」としております。そして、強調事項をして3つ挙げられております。第一に、「家族」。第二に「継続」。第三に「変化」ということです。

テーマについては、世界に平和を求めるのであれば、まず、自分自身のこころを平和にし、それから、家族、地域社会それから世界へと広がると説いているようです。継続とは、成功を収めてきたロータリーの奉仕の実践を続けていき、変化とは、世界に望んでいる変化はまず、家庭に、地域社会に、自分自身の生活に平和ももたらすことから始めよ。という事のように。簡単のような難しいようなことですが、少しでもテーマに近づいた考えと行動をしていき

たいと考えております。

また、来年度のガバナーの増田エレクトは、会長のテーマを直訳すると「ロータリアンの心の中に届けよう多くの人の人間性をフンワリと包みこむようにして」と言われております。私が訳しますと「慈愛を心の中へ解き放とう」みたいな感じでしょうか。地区にテーマは、「地域社会にロータリーを活かそう」という事です。実は今年度とほぼ同じテーマと言えらると思ひます。

具体的には、

- 1) 地域社会の中でロータリーの存在意義の強調
- 2) 特に職業奉仕部門を通してのサービスの向上
- 3) 例会を楽しく意志の疎通を図れる様、推進
- 4) 世界の大切だが、2500地区のロータリーとして協力できるものを調査
- 5) ロータリー財団への協力
- 6) 米山記念奨学会事業への協力としております。

これらを踏まえ、次年度のクラブのテーマを「地域良さを感じ、楽しもう」とし。我々の住むこの道東の自然や、食材、観光、職業をもっと、知り感じて楽しもうと思っております。そして、我々自身がそのすばらしさを感じることに、この地域に誇りを持ち、郷土を愛することができてこそ、そのすばらしさを発信できるのではないかと考えております。具体化し、実践するには、皆様のご協力が必要です。いつのまにか残すところ、2ヶ月を切りましたので、なにかとこちらからの注文も多くなるかもしれませんが、よろしくご支援くださいますようお願いいたします。

■佐藤玄史次期幹事



国際ロータリー2500地区 2011～2012 年度のための会長エレクト研修・米山記念奨学会・会員増強セミナーが旭川グランドホテルで、4月23日(土)に地区協議会前日に開催され、長倉次期会長、佐藤幹事が参加しました。会員皆様もご存知の通り、新年度に向けた国際協議会(アメリカ・サンチアゴ)、地区協議会(旭川)、各クラブ協議会の順で開催され、新年度のそれぞれの一年間の活動計画書が決まり、それを元に一年間の活動の指針になるわけです。初日は、午前中は、増田一雄(旭川西RC)次期2500地区ガバナーの国際協議会の報告を中心に、2011～2012 国際ロータリー会長カルヤン・バネルジー(インド)、テーマ” ころの中を見つめよう 博愛を広げるために “このことは「深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ願望、同じ問題を、分かち合っていることを、理解していただきたいのです」これが、2011～2012 のテーマになります。第一の強調事項は、「家族」から始まる、第二の強調事項は、「継続」、第三の強調事項は、「変化」となります。ついで、増田ガバナーの地区の目標は、「地域社会に、ロータリーを活かそう!!」優先項目に、

- 1) クラブのサポートと強化
- 2) 人道的奉仕の重点化と増加
- 3) 公共イメージと認知度の向上となり

具体的には

- 1) 地域社会の中でのロータリーの存在意義の強調
- 2) 特に職業奉仕部門を通してのサービスの向上
- 3) 例会を楽しく意志の疎通を測れる様、推進
- 4) 世界も大切だが2500 地区内が一番大切なため、2500 地区内でロータリーとして協力できるものを調査する
- 5) ロータリー財団への協力
- 6) 米山記念奨学会への協力

以上のことを踏まえ、自らが汗を流し地域住民の信頼を得ることこれらは、活動計画書に記載されていますが、増田ガバナーは、国際協議会のビデオ映像を主に、サンチアゴの国際協議会の雰囲気味あわせてくれました。尚、今回の協議会、さらには、今年度の活動についても、誰しもが、“東日本の震災のいくえが”、大きく影響するとしています。午後の部に入り、「米山記念奨学会セミナー」が開催され長倉会長、幹事で参加しました。ロータリー米山記念奨学事業、～学友の活躍に見る成果と意義～

